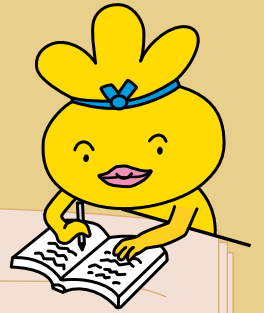


おでんくん日記

第6話. みんな仲間だ!の巻 (自然のしくみって?)



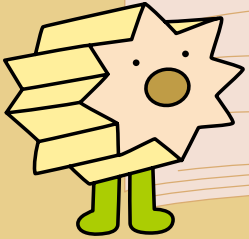
たご月だいこん日たまごよう日

きょうは、みんなで遊んでいて、森の奥で、迷子になっちゃった。

すっかり暗くなって、心細くなったけど、森のなかで友達が出来たよ。ちくわぶーも大喜びだったよ。

お客さんも「キノコとりで森に行ってクマにあった」って言ってたけど、外の世界の森にはどんな友達がいるのかな。

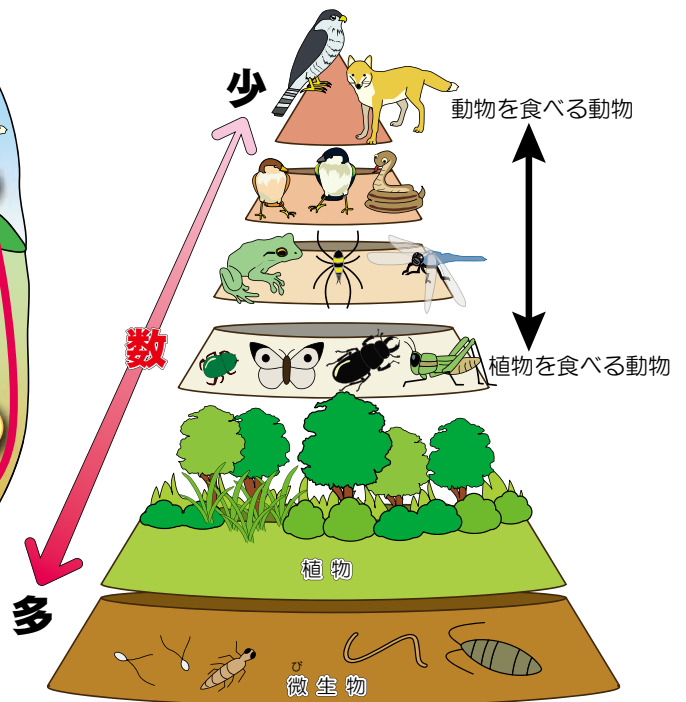
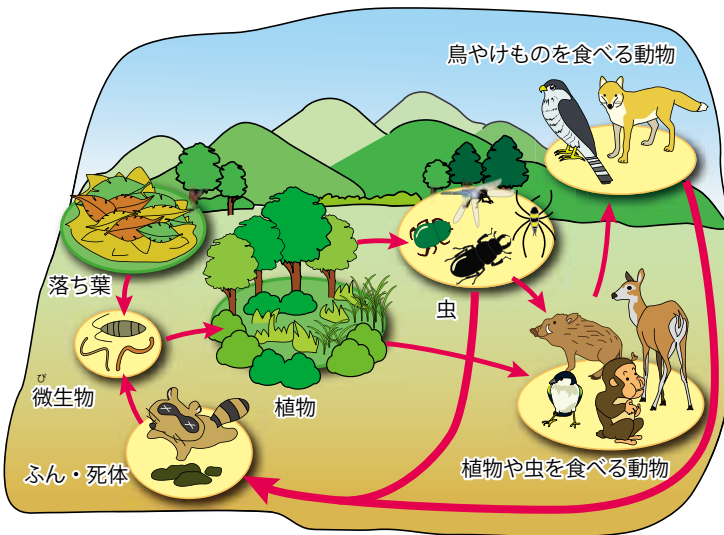
ぼく、よくわからないや。



1. 自然界では生きものが支えあって生きている

自然のなかでは、生きものたちはお互いに支えあいながら微妙なバランスを保って生きています。

しかし、人間が自然を壊すことで、この「しくみとバランス」(生態系)がくずれてしまうことがあります。人間も、自然の恵みを受けて、ともに暮らす仲間です。だから、自然をこわすと、動物や植物だけでなく、わたしたち人間も困ることになります。



環境省の

しごと紹介

自然や生きものを守る仕事(自然環境局)

豊かな自然とともに生きる社会をめざして国立公園の管理や、動植物の保護など

に取り組みます。

(環境省のホームページ <http://www.env.go.jp/nature/>)



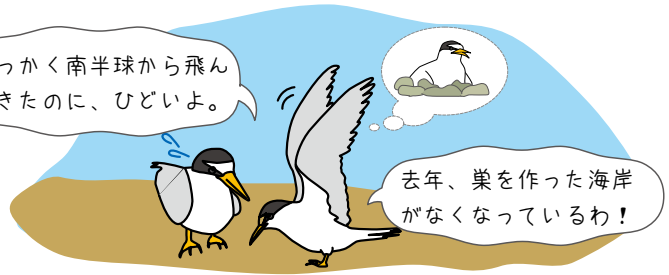
2. 日本にすむ生きものにせまる3つの危機

第1の危機 人間の活動や開発で生きものすみかがこわされる

家庭や工場の排水により川や海が汚れ、魚がすめなくなったり、開発により森がなくなったり、埋め立てにより自然の干潟や海岸がなくなったりして、すみかがこわされています。

せっかく南半球から飛んできたのに、ひどいよ。

去年、巣を作った海岸がなくなっているわ！



第2の危機 里地里山と人間の関わりがなくなった

農業をする人が減って、田んぼでお米を作らなくなったり、山の手入れをしなくなったりして、かつての里地里山の豊かな自然環境が失われつつあります。

◇ 雑木林

日当たりが悪くて花がさかないよ・・・

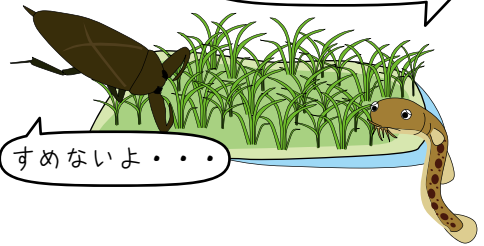


たまごを生むところがなくなっちゃうわ。



◇ 水田

だれも手入れしないから草ぼうぼうだよ。

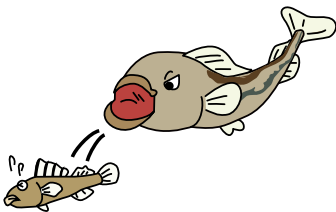


すめないよ・・・

第3の危機 外来生物や化学物質の影響

人の手によって他の地域から持ち込まれた生物（外来生物）が、もともとその場所で生活していた生物との間で、すみかや食べ物をめぐる取り合いなどのいろいろな問題を起こしています。

また、人が作った化学物質の一部が生きものに影響を与えているのでは、と心配されています。



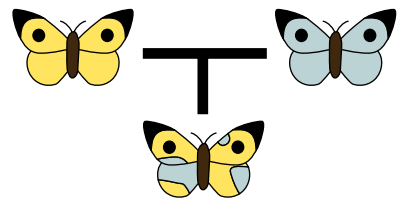
外来生物が日本にもともといた生物を食べてしまい、本来の生態系が乱されてしまうよ。

※外来生物のことをもっと

知りたい人は35ページを見てね。



外来の植物が増えて、もともと生えていた植物を枯らしてしまったり、外来の動物が、日本の動物の餌を食べてしまうよ。



外来の生物と日本の生物の雑種が生まれ、もともとの生物がいなくなってしまうよ。

●日本のレッドリスト

(平成18年9月) (絶滅のおそれのある生きものたち)

	絶滅	野生絶滅	絶滅が心配されている数
動物	47	2	700
植物	55	7	1,994

野生絶滅: 自然の中にはもうすんでいません。

人間によって保護され、育てられています。



ツシマヤマネコ

日本では対馬(長崎県)にだけいるヤマネコで、自然破壊や、交通事故等により絶滅が心配されている生きものだよ。



トキ

「ニッポニア・ニッポン」という学名がつけられ、日本を代表する美しい鳥でしたけど、乱獲の影響等で日本生まれの野生のトキは絶滅してしまっただよ。

3. 日本の自然を守っているよ

日本の自然や伝統的な風景を守ることは、生きもののすみかを守ることにつながります。人の活動の影響を受けていない手付かずの区域を自然環境保全地域として、日本の美しい自然の風景を国立公園などに指定することで守っています。

指定された場所では、自然や風景を壊すような開発をしないようにしたり、生きもののすみかを守る決まりを作ったりしています。

また、日本の農村や漁村など伝統的な風景を守る取組もしています。

国立公園は北海道から沖縄まで全国に28か所あります。

自然を守るだけでなく、傷ついた自然を回復したり、自然とのふれあいの場として利用できるようにしています。



●自然再生事業

釧路湿原には、約2万年前の氷河期の生き残りといわれるキタサンショウウオがいるよ。また、タンチョウもこの湿原でみることができるよ。

でも、その自然も近年の開発によって大きく変化しているんだ。

このため、自然に対する悪影響を、時間をかけて、ていねいに取り除くことによって、自然が自らの力で回復していくことを手助けしようとする取組を行っているんだよ。



釧路湿原国立公園



●世界遺産とエコツーリズム

屋久島は、縄文杉をはじめとするヤクスギ巨木群やアカヒゲなどめずらしい動植物が見られるよ。平成5年12月に世界遺産として登録されたんだ。

屋久島では、自然や島の文化や暮らしを体験するエコツーリズムを広め、自然を守り、島に暮らす人々の生活も守るような取組をしているよ。



●日本にもともといた生物を守る

小笠原諸島は、東京から南に約1,000km離れた太平洋上の大小30余の島々で、大陸と一度も陸続きにならなかったため、独自の進化をした生物がいるよ。近年、外来生物によってもともとこの島々にすんでいた生物がおびやかされているよ。

そのため、小笠原諸島の生物を外来生物から守る取組が進められているんだよ。

ポイント エコツーリズムって何？

地域の自然や文化を守り、受け継ぎ知るための観光で、その地域を元気にするものです。自然がいつまでも元気で地域の人に大切にされるよう、みんなもエコツアーに参加しよう。

エコツーリズム








身近な生きものについて調べてみよう

「ツバメの巣」や「セミのぬけがら」、「ドングリ」など季節によって身近な生きものについて、それらが見られる時期や場所について調べてみましょう。
調査のやり方は、^{かんきょうしょう}環境省のホームページ「身近な生きもの調査」が参考になります。また、調査の結果も見ることができます。
(身近な生きもの調査ホームページ <http://www.biodic.go.jp/mijika/index.html>)



エコスタイルチェック

もうやっていること・・・
これからやろうと思うこと・・・
の中にチェックマーク(✓)をつけよう!

●参加してみよう!

～子どもパークレンジャー～

すばらしい自然を守るレンジャーやパークボランティアと一緒に、小中学生が自然とふれあいながら、国立公園のパトロールや、動物や植物の調査などを体験できるよ。



子どもパークレンジャーの活動の様子
<http://www.jeef.or.jp/jpr/jprindex.html>

～「子どもの水辺」^{さいはっけん}再発見プロジェクト～

地域のボランティアにサポートしてもらいながら、こどもたちが川あそびや川の生きもの^{ちゆうさ}の調査など、水辺の体験活動をしているよ。

●仲間をつくって活動しよう!

～こどもエコクラブ～

こどもエコクラブは、こどもなら^{だれ}誰でも参加できる環境活動クラブだよ。
くわしくは、41 ページをみてね。



こどもエコクラブニュースとメンバーズバッジ

●自然についての情報を調べてみよう!

～インターネット自然研究所～

インターネット自然研究所には、全国の生きもの^{じゆうほう}の情報や国立公園などの現在の風景、絶滅のおそれがある生きもの^{じゆうほう}の情報など、もりだくさんの情報があるよ。



 なら3ポイント、 なら1ポイント、ゲット!

きみの合計は ポイントだ!

